

「9条の会ごか」 ニュース

発行:9条の会ごか
事務局:高橋宏光



活動報告

“鐘つき護憲表明”と“学習会「原爆投下の惨禍を考える」”

9月9日(火) 9時から長命寺さんで開催しました。「鐘つき護憲表明」では、憲法前文・第九条の朗読と誓いの鐘つきを、参加者全員で行いました。

学習会「原爆投下の惨禍を考える」では、DVDを視聴し意見交換を行いました。

DVD【広島戦跡を巡る】誰も知らない原爆の歴史と真実

- ・マンハッタン計画(1945/7/16 約 3,000 億円かけて原爆開発)
- ・原爆投下目標地選定委員会(17 都市から絞り込むプロセス)
- ・指導者の決断(広島では人口 35 万人がその年死者 14 万人に)

DVD【原爆投下80年】広島で何があったのか…被爆者の最後の世代に聞く(BBC)

- ・アメリカは戦後 7 年間日本を占領し、広島・長崎の被害に対する報道を厳しく検閲した。
- ・原爆投下の医学的影響を調査する委員会を設置するも、不妊や精神的・身体的健康への影響が世界に知られるまでには何十年もかかった。

DVD あす広島原爆投下から80年 惨状伝える写真を撮影したカメラマン(ANN NEWS)

- ・松重さん(中国新聞社カメラマン)が被災者の記録写真撮影
- ・「プレスコード」発令(1945/9/19 GHQ)…原爆報道の規制、1952 年失効(7 年間)
- ・監視の緩い「夕刊ひろしま」に、被災記事と判りにくい形で報道(1946/7/6)

<意見>

- 絵を描く仲間が 3.11 後、こぞって福島に描きに行っていました、何故そうするのか、そうしなければならないのかわからずそれらの動きを眺めていました。
- (自分の感じたことをもとに)記録することが大切なんだということがわかりました。
- そして表現する時にはどうしたら伝わるかを考えて、その方法を見つけ出すことの大切さも気づかされました。
- 今は核兵器が小さくなったり極大になったりしていますが、どんなものであれ放射能による後遺症も大きいということが大切であると思った。高校生の描く絵でもそこを忘れないようにしたい。
- 核兵器禁止条約の多面的なまなざしをみなに伝えたいと思った。
- とても勉強になりました。これから次の世代にどのように引き継いだらよいか大きな問題ですね。
- 何を見るか、あふれてくる情報の中から見つけるには、自分から探しに行くことが大切になると思いました。

- 近代史特に戦前・戦中・戦後は、学校で学べなかったことに目を向けずにいたことを
思いしらされた。
- 情報統制「プレスコード」、言葉さえ知らなかった今は？
- 核の脅威や軍拡競争への懸念が高まっている今、「核の抑止力」うたう指導者にどう
伝えていけるのか。

